



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240

太宰をしのぶ 献花の列



1998
7

No.387

6月19日「桜桃忌」より

太宰没50年

節目の桜桃忌

生家「斜陽館」が県重宝に指定



▲さまざまな思いを胸に献花する津島園子さん

昭和四十三年の第二十回から金木町で開催され、節目の五十回目を迎えた桜桃忌が六月十九日、県立芦野公園太宰文学碑前で行われました。

偉大な作家太宰治をしのび、今年は例年の二倍とも、三倍ともつかない大勢の方々が参列し、太宰のめい福を祈りました。

太宰は昭和二十三年六月、東京都三鷹市の玉川上水に投身。とき同じく六月、生家津島家は人手に渡りました。

「撰ばれてあることの 恍惚と不安と 二つわれにあり、作家として選ばれた太宰が、天国へ旅立ってから五十年。

生家が太宰治記念館「斜陽館」として生まれ変わり、太宰アーム一色の中で行われた式典で鳴海町長は「全町民が結果して『斜陽館』をアピール



▲碑には太宰の好物サクランボが

記念すべき年の第五十回桜桃忌が大盛會に挙行されますこと、お喜び申し上げます。友好都市関係にある金木町のご発展を心からお祈り申し上げます」とメッセージが届けられました。

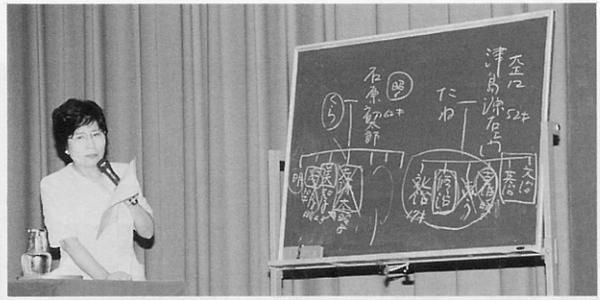
文学碑には、名川町のさくらんぼ娘がサクランボを供え、「走れメロス」のコーラス曲が流れる中、白い菊を参列者が一本一本碑に献花しました。旅館「斜陽館」時代の女将、黒滝弥生さんは「太宰を通して色々な人との交流が私の宝。斜陽館を町に譲ってよかったと改めて思う」としみじみ語ってくれました。

していくとともに、太宰夫婦の安らかな眠りを念じます」とあいさつ。続いて、太宰の長女・津島園子さんが「節目の年に『斜陽館』も復元され、こんなに大勢の方に太宰が慕われて、感慨深い思いです」とお礼を述べました。また、山梨県河口湖町の小佐野常夫町長から「斜陽館オープン

式典終了後、場所を中央公民館に移し、津島園子さんを講師に「没後五十年を迎えて」と題し、文化講演会が開かれました。園子さんは、昨年亡



▲太宰をしのぶ会には大勢が参加



▲家系図で説明しながら講話する園子さん

なくなった母美知子さんと太宰について切々と語りました。父の津島家、母の石原家を家系図で説明しながら、「母や石原家は、失意の中にいた太宰を立ち直らせたいと受け入れ、太宰を迎えた。その母が亡くなった後、遺品を整理していくのはつらいものがあつた。その中から見つかった『人間失格』の草稿などは、物を大切にする母だったから残っていたもの。そばで太宰を支えてきた母は、原稿を見ることができず、母の日記を読み返し、代表作『津軽』執筆のための出発当日、弁当作りなどで忙しい朝を迎えていることや、『明日帰る』と電報が届いたこと、太宰が両手いっぱいにお土産を持って帰ってきたことなど。母は太宰の死、息子の死でつらく苦しい日々を送った。太宰を気遣い沈黙を守ってきた五十年でした」と講話し、約二百人の聴衆の方はじっと

▶県重宝に指定された斜陽館



耳を傾けていました。今年リニューアルオープンした「斜陽館」が七月二日に県の重宝に指定され、来館者は七月七日現在で四万人を突破し、五月四日には一日で二千八百七十人と多数の方が訪れています。町も四月十七日に河口湖町と「太宰のふるさと友好都市協定」を締結。今年九月には金木中学校が修学旅行で河口湖町を訪れるということです。太宰を生んだ金木町、誇りを持って言いたいものです。私たちの故郷は「太宰のふるさと金木町」と。

太宰治満五十年忌
生家斜陽館開館 記念
県下金木俳句大会

万緑や太宰生家の太い梁 峰 秀女(金木)

人間失格読んで植田の風の中 草野力丸(深浦)

太宰治その横顔の薄暑かな 松宮梗子(五所川原)

桜の実メロス走ケロと朗読せり 富士光生(尾上)

三味線の昂りて馬鈴暮花さかり 長内艸骨(金木)

借金を半分返し髪洗う 鎌田祐嗣(浪岡)

せんべいの焦げるにおいや桜桃忌 千葉恭秀(浪岡)

地獄絵の墓が出てくる太宰の地 長内博(平賀)

太宰碑へ歩を戻しけり花の雨 藤枕流(弘前)

夏蝶の影淡あはと三味線碑 清水雪江(藤崎)

泣きたくて飲む酒もある太宰の忌 佐藤正賢(弘前)

太宰の忌明治の玻璃のうすゆがみ 葛西幸子(金木)

松風の透く音太宰忌五十年 会津正治(板柳)

不死鳥の眼は紫に桜の実 松川青雅(金木)

髪洗ふ赤ん坊が腹蹴ると言ふ 桜庭梵子(板柳)

太宰碑や名残りの桜風に散り 坂田雅人(金木)

県大会出場

金木中



【ソフトボール部】

「県大会も全力で戦うので、応援よろしくお願ひします」



【野球部】

「県大会では自分たちの野球をし、一戦必勝で頑張る」



【ソフトテニス部】

「みんなで力を合わせて、精一杯頑張りたい」



【陸上部】

「県大会入賞を目標として、日ごろの練習を頑張る」



【剣道部】花田映子

「初めての県大会なので、精一杯頑張りたい」

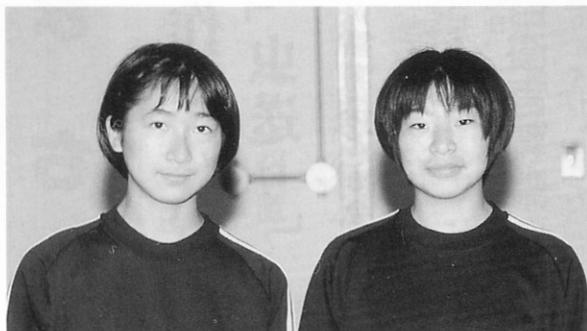


【相撲部】

「練習が一番きついと思うので、県大会でも優勝したい」

金木南中

「中体連」



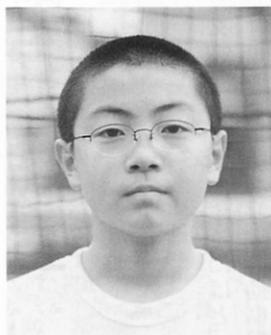
【ソフトテニス部】 棟方 碧・澤田陽香
「初戦突破目指して、自分のベストを尽くせるよう頑張る」



【陸上部】
奈良享平・中村友哉・米谷敬太・大橋正弥
「県大会までの練習を精一杯取り組み、入賞目指して頑張ってくる」



【相撲部】
「これからの練習を大事にして、東北大会目指し頑張る」



【水泳部】 津田洋輔
「県大会はレベルが高くなるので、上位に入れるよう頑張りたい」



【剣道部】 鳴海昌子・白川まり子
「全力を尽くしてきます。(警察の先生、長尾先生、頑張ってきます)」

まちのびわく

「虫」を先頭に太刀振りを披露する子供たち



豊作願い

「虫送り」

嘉瀬子ども会

嘉瀬地区子ども会育成連合会（会長＝木村美智子）は六月十三日、豊作祈願と稲や農作物につく病害虫を追い払う「虫送り」を行いました。昭和六十一年の子ども会結成を契機に、伝統芸能の継承

と子ども会活動の一環として、同六十三年に復活した虫送りは今年で十一回目。日ごろの練習の成果を発揮しようとする子どもたちや、獅子舞、荒馬保存会関係者ら約百人が参加しました。

さつき

展示会

金木盆栽会

六月十二日から十四日までの三日間、今年で十回目を迎えた「さつき展示会」が商工会館ホールで開催されました。金木盆栽会の会員十三人が、真心を込めて育て上げたさつきが見事なアートを描き、訪

嘉瀬公民館の発式で団結を図り、参加者は「虫」を先頭に中柏木地区から虫送りを、笛や太鼓に合わせ太刀振り、獅子舞を披露しながら練り歩き、沿道の町民らから盛んな拍手を浴びていました。来た人の目を楽しませ、淡いピンクやむらさき、白など色とりどりの作品には、一つ一つに作者の思いが感じられました。

会員の方は「毎日毎日の手入れは大変だが、一本の樹から数種の花を咲かせたりする。そんな楽しみがある」と、盆栽の魅力を語ってくれました。

また、観賞に訪れた人たちに会員から、さつきの苗木が無料でプレゼントされました。

金木小学校

自転車安全教室

「親子の集い」



▲ルールやマナーを守り安全運転を！

金木小学校（校長＝蝦名昭逸）の三年生と父兄が七月四日、金木自動車学校で自転車安全教室「親子の集い」を開き、百十名が参加しました。同校では、三年生になると自転車に乗ることが許可されます。安全教室は自転車で遊ぶ児童に、交通事故に遭わな

いようにするにはどうしたらよいかなど、自動車学校の職員の指導のもと、保護者と一緒に行われました。

はじめに、点検カードでブレーキやライトなどが正しく作動するか一点一点入念にチェックし、仮設コースでの実技に移りました。勢いよく乗り回す児童から、慎重な運転の児童などさまざま、見ている保護者の方をハラハラさせる場面も随所にあつた。その後、指導員から標識の見方や右左折時の注意点などの説明を受けながら、全員が「正しい乗り方」の「コツ」を教わりました。

夏休み中、事故でケガをしないよう教えられたことを守り、元気な顔で二学期を迎えてください。



見事な「さつき」に訪れた人は思わず「ため息」